

注射抗がん剤の悪心・嘔吐に対する推奨制吐剤（愛媛大学医学部附属病院採用薬品）2016.9更新

NCCN guideline antiemesis V.2. 2016, ASCO guideline update (JCO 2015; 34: 381-386), 日本癌治療学会/制吐薬適正使用ガイドライン2015年を用いて作成した

※多剤併用療法の場合には、催吐リスクが高い薬剤に準じて下さい。

抗がん剤投与2日目以降の5-HT₃拮抗薬の使用は効果が期待できないため推奨しません。

2016.9.5 レジメン委員会作成

抗がん剤（点滴静注のみ）		急性の悪心・嘔吐（day 1）	遅発性の悪心・嘔吐（day 2～）
高度催吐リスク群（>90%）			
イホマイド [†] ≥2g/m ²	シスプラチン	アロキシ点滴静注バッグ0.75mg ^{*1}	デカドロン錠4mg 2錠（8mg）分2を3日分
エピルピシン >90mg/m ²	ダカルバジン	+ デキサート注射液6.6mg 1.5V（9.9mg）	+ イメンドカプセル80mg 1CPを2日分
エンドキサン >1,500mg/m ²	ドキシソルピシン ≥60mg/m ²	+ イメンドカプセル125mg 1CP	
乳がん：AC、FEC100レジメン		または プロイメンド点滴静注用150mg 1V ^{*2}	
中等度催吐リスク群（30-90%）			
アイエーコール	コスメゲン	アロキシ点滴静注バッグ0.75mg	デカドロン錠4mg 2錠（8mg）分2を2日分
アクブラ	シタラビン >200mg/m ²	+ デキサート注射液6.6mg 1V（6.6mg）	
アルケラン	ダウノマイシン		
イダマイシン	テモダール	または	
イホマイド <2g/m ²	トリセノックス		
エピルピシン ≤90mg/m ²	トリアキシン	グラニセトロン点滴静注バッグ1mg ^{*3}	デカドロン錠4mg 1錠（4mg） ^{*4} 分1を2日分
エポルトラ	ドキシソルピシン <60mg/m ²	+ デキサート注射液6.6mg 1V（6.6mg）	+ イメンドカプセル80mg 1CPを2日分
エンドキサン <1,500mg/m ²	ビダーザ	+ イメンドカプセル125mg 1CP	
オキサリプラチン	ピノルピン		
カルセド	ブスルフェクス		
カルボプラチン	ミリブラ		
カンプト	メソトレキセート ≥250mg/m ²		
キロサイド >200mg/m ²	ヨンデリス		
軽度催吐リスク群（10-30%）			
アクラシノン	ジェブタナ		
アドセトリス	シタラビン 100-200mg/m ²		
アブラキサン	ドキシル		
アリムタ	ニドラン		
エトポシド	ノバントロン		
カイブロリス	ハイカムチン	デキサート注射液6.6mg 1V（6.6mg）	通常、予防的な制吐剤投与は推奨されない
カドサイラ	ハラヴェン		
キロサイド 100-200mg/m ²	ポテリジオ		
ゲムシタピン	マイトマイシン		
サイメリン	メソトレキセート 50-250mg/m ²		
パクリタキセル（weekly）	フルオロウラシル		
パクリタキセル（tri-weekly）		デキサート注射液6.6mg 3V（19.8mg） ^{*5}	
ドセタキセル		デキサート注射液6.6mg 1V（6.6mg）	デカドロン錠4mg 2錠（8mg） ^{*6} 分2を2日分
最小催吐リスク群（<10%）			
アバスチン	フィルデシン		
アービタックス	フルダラ		
エクザール	ブレオ		
オブジーボ	ベクティビックス		
オンコピン	ベルケイド		
キロサイド <100mg/m ²	マイロターグ	通常、予防的な制吐剤投与は推奨されない	通常、予防的な制吐剤投与は推奨されない
サイラムザ	メソトレキセート ≤50mg/m ²		
シタラビン <100mg/m ²	ヤーボイ		
トリーセル	リツキサン		
ナベルピン	ロイスタチン		
パージェタ	ロイナーゼ		
ハーセプチン			

*1: 高度催吐リスク群には3剤併用療法を推奨します（Ann Oncol 2016; 27: 1601-6）。

薬価：2016年度（平成28年度）

*2: イメンドCP内服不可の場合のオプション、プロイメンド点滴静注150mgはイメンドCP3日間内服と同等です。

アロキシ点滴静注バッグ0.75mg：15,050円

*3: グラニセトロン静注1mgはグラニセトロン静注3mgと同等です（Support Care Cancer 2012; 20: 1057-1064）。

イメンドカプセル3日分：11,758円

*4: デキサメタゾンの血中濃度はイメンドCP併用時に相互作用で2倍に上昇するため、投与量を半量に減量して下さい。

プロイメンド点滴静注用150mg：14,705円

*5: 過敏症予防に推奨します。なお、初回治療時にイメンドCP併用する際は19.8mgで行い、次回以降で減量を検討して下さい。

グラニセトロン点滴静注バッグ1mg：1,109円

*6: 浮腫予防に推奨します。

デキサート注射液6.6mg：170円

海外ガイドラインに記載のない薬剤は添付文書の嘔吐の頻度で判断した。

アイエーコール、アクラシノン、ポテリジオ、ミリブラは悪心・嘔吐の頻度で判断した。